

令和7年度 第6回 国立市スポーツ推進委員定例会 議事録要旨

日 時：令和7年10月16日 午後7時から9時まで

場 所：国立市役所 第一・二会議室

出席委員：塩野委員、森本委員、保坂委員、仁科委員、荻原委員、武政委員、長谷川委員、岡林委員、柴宮委員、関委員

欠席委員：坂委員、佐藤委員、千野委員

事務局：井田課長、勝田係長、矢部会計年度任用職員

1. 議題

(1) ファミリーソフトボール教室について

…資料① ファミリーソフトボール教室役割分担表（案）、募集チラシ、参加者へ送付用注意事項、大学内案内図

- 事務局より説明あり。11月16日（日）に東京女子体育大学を借用して実施する。参加者の申込状況は、定員が20組40名のところ現在24組48名の申し込みがあり、既に定員を超えており担当の佐藤委員と協議の上、参加人数については決めていきたいと思う。締め切りは10月20日までである。役割分担表（案）、タイムスケジュールについて、ご覧いただき、流れを確認いただきたい。参加者へ事前送付する注意事項にも目を通していただき、加筆修正があれば示していただきたい。当日参加する予定の委員は、佐藤委員、仁科委員、塩野委員、森本委員、長谷川委員、柴宮委員、関委員である。当日までに、係分担の変更等があった場合は出席委員に連絡する。当日は8時50分に集合をお願いしたい。

(2) スポーツ子どもの日について

…資料② 令和7年度 社会体育事業「スポーツ子どもの日」について（案）

- 事務局より進捗状況の説明あり。長谷川委員に調整いただいているところで、ダンスと体操競技の先生方より、3月8日（日）で協力可能の旨内諾をいただいた。現在デフ競技で借用する体育館の交渉中とのことで、決まり次第お知らせくださいとのことである。デフ競技については、東京都障害者スポーツ協会に申請中である。

(3) ボッチャくにたちカップについて

…資料③ 「ボッチャくにたちカップ2025について」、昨年度のレクリエーションルールについて、No.9の改定案、コート仕様について、令和7年度東京都市町村ボッチャ大会の開催に向けて（依頼）、市町村ボッチャ大会ルール

- 事務局より説明あり。12月20日（土）にFSXアリーナ第一体育室で実施予定である。9月定例会で協議いただいた内容を参考に、募集対象や申込方法、1チームの人数構成について示し、承認されたため、参加募集の広報を11月20号市報に掲載、HPや各施設にチラシを作成・配布することで周知していきたい。
- 2025のレクリエーションルールの介助者のランプ操作の部分について、事務局より改定案を提案し協議の結果、介助者のランプ操作の基本を明記したうえで、介

助者が2名の場合と1名の場合をさらにわかりやすくした方が良いということになり、今回も事務局で持ち帰り、文言等を整えることとなった。次回の定例会で再度確認する。

- ・ レクリエーションルール、その他変更した点について、
 - ・ 投球しないプレーヤーはコートの外に出ても構わない→(スローイングボックスの後方) の文言追加。
 - ・ 作戦タイムは1エンドにつき、各チーム1回30秒まで可とする。審判に作戦タイムの申告を行ったチームは、作戦タイム中はチーム全員でコート内に入り、ボールの配置を確かめることができる。 の文言追加。
- ・ ボッチャの事前研修2回目は、11月20日定例会終了後に同じ会議室で行うことが確認された。
- ・ 東京都市町村ボッチャ大会の大会サポーター選出について、令和8年1月24日(土)に青梅市で大会があり、12月13日(土)には福生市で大会の審判講習会があるため、両日参加できる保坂委員にお願いすることとなった。

2. 報告

…資料4 「社会体育事業報告書」「社会体育研修報告書」

(1) 社会体育事業報告

○スポーツ推進委員ボッチャ研修会 10月6日

- ・ 出席した委員より、研修の様子について報告があった。
- ・ 12月20日に開催されるボッチャくにたちカップ2025に向けて、審判を担当する国立市スポーツ推進委員全員がコートつくりからルール、審判の所作・発声を習得することを目的として実施した。
- ・ 審判の経験のない、経験の少ない委員が順番で主審となり実際にゲームを行って采配してもらった。慣れるため数回実施。
- ・ 実際の大会では自信をもって大きな声でキレの良い動作を行うよう心がけることを確認した。
- ・ 今回でルール等は覚えたとは思うが、時間が空いてしまうと不安になってくるので、大会当日までにあと何回か訓練があった方が安心する。

(2) その他

○東京2025デフリンピック講演会 報告 9月22日(月)

- ・ 出席した委員より、講演会の様子について報告があった。
- ・ 講演会周知について、くにたち健康ポイント事業の案内より来場していた。きっかけは健康ポイントだが、デフリンピックを知らない来場者もいたので、今後の周知方法の参考になると思った。
- ・ メンタルはコミュニケーションが重要であるということが興味深かった。
- ・ ワークシートを用いた説明で、メンタルコーチングの実際に触れて、自分たちの指導等に活かせると感じた。
- ・ 負けた原因を考えるのではなく、それよりも良いところ、何が光っていたのかという

ことを皆で共有して、次につなげていくというところが印象に残った。ポジティブな問い合わせが重要。

- ・普段は技術指導に注力してしまうが、選手と「一緒に考えながら気づいてもらう」ということが印象的であった。
- ・誰にでもある心の不安定を克服するのは、不安定について「気づく」ことから始まる。
- ・講演会のアンケートをまとめてもらったので、参考にご覧いただきたい。

○スクエアボッチャ体験会 報告 9月23日(火・祝)

- ・出席した仁科委員と塩野委員より、体験会の様子について報告を行った。
- ・「スクエアボッチャ」は、名前のとおりスクエア（正方形）のコートで各辺に4チーム（赤、青、緑、黄）で行うことができる。
- ・面白いルールについては、ジャックボールにボッチャが接触したらボーナスポイントで1点が入る。また、いったん離れた場合でも再び接触したら1点が入る。その他のルールは同じで、4エンド終了時の合計得点で順位を決定する。
- ・ボッチャと比べるといっぺんにたくさんの人数で行うことができ、隣のチームや向かい側のチームもいるので、よりにぎやかに実施できるのではないか。
- ・4色のボールがない場合は、緑と黄のシール等を貼り付けて、4色作って対応すれば良いとのことで、時間と機会があれば国立市でも試してみることはできそうである。
- ・資料にスクエアボッチャガイドが入れてあるので参照いただきたい。

以上